HACCP導入で衛生管理の取り組みを見える化

～　HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実践支援～

対象：高付加価値化実践者・グループ・地域

1　活動の背景

令和3年6月から原則全ての食品事業者に対し、HACCPに沿った衛生管理の取り組みが義務化された。そのため、農産加工品の製造・販売に取り組む農業者やグループがHACCPの考え方を取り入れた衛生管理をスムーズに導入できるよう、保健所や高付加価値化担当者との連携を密にしながら衛生管理のレベルアップを図る。

2　活動の経過

HACCP衛生管理の導入・実践支援（R3～R7）

HACCP理解促進（研修会の開催）→ 対象者と改善点の検討協議 → 加工施設・機材衛生管理状況把握 → 対象者と改善点の検討協議 → 品目別手引書の理解促進 → 衛生管理計画の作成支援 → 記録様式の作成（記録様式作成支援） → 記録・確認（実践・見直し）

HACCPは、一度作ったら終わりではなく、現場の状況に合わせて継続的に見直し改善が不可欠

年度	支援内容	対象者	支援内容と結果
R３	HACCP導入による衛生管理の向上	モデル12事業者	HACCPの理解促進のため、学習会等の企画・開催、HACCPの内容や導入手順をサポートしたことで、12事業者が１８品目HACCPの衛生管理計画・記録様式を完成させることができた
	共同利用加工施設におけるHACCPの衛生管理導入	JAきたそらち 岩見沢市、北竜町 （10事業者）	地域係や保健所と連携し、共同加工施設の衛生管理の役割分担の明確化と、担当者が替わって継続できる体制を整えた
R４	食品を取り扱う事業者の衛生管理向上	モデル農産物直売グループ （２グループ）	共同加工施設の運営者や出荷者に対して、地域係の担当者と連携し、衛生管理計画や記録様式の作成をサポートしたことで衛生管理計画の作成と活動体制を整えた
R５	食品を取り扱う事業者への衛生管理向上	秩父別町・長沼町加工事業者・（３事業者）	HACCPの基礎的な知識や導入手順から実践方法まで7品目の製造工程を可視化する等、衛生管理のレベルアップ支援 ピクルスの製造販売する事業者に対し、衛生管理計画と記録様式等の作成を支援
R６		秩父別町加工事業者（１事業者）	HACCP計画が機能しているかを記録の確認や現場確認・検証を実施したことで製造工程の見直しと改善に取り組んだ。
R７	HACCP衛生管理計画の定着と振り返り	導入支援を実施した42事業者のうち継続実践者 （23事業者）	R3年から普及がHACCP導入支援を行ってきたモデル42事業者のうち、23事業者がHACCPの考え方を取り入れた衛生管理を継続実践していることを確認した

３　成果の具体的内容

[R3～R4] HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の導入

グループ単位による学習会の開催し、全グループ員がHACCPの考え方を取り入れた衛生管理の基礎知識や実践手法を理解・習得できまで、丁寧にサポートし、対象者が無理なくHACCPの導入・運用ができるまで寄り添った伴走支援

[R5～6]HACCPの衛生管理の定着と振り返り

ロッカーの設置等
利用者だけでは、改善出来ない事も可能となり、衛生管理の精度が向上

トイレドアノブの殺菌等
分担が明確になり、徹底できるようになった。

[R7年]HACCPの衛生管理の定着と振り返り

HACCP導入支援（モデル42事業者）
継続実践している23事業者を対象

→ HACCP導入実態調査

導入支援対象者満足度

４　今後の課題と対応

○HACCP衛生管理の未実施の農業者・グループに対して、地域係や高付加価値化担当者と連携して継続的な周知とHACCPの考え方を取り入れた衛生管理の導入支援を行う
○地域の実情やニーズに応じた方法で高付加価値化の取り組みを支援する